

公開シンポジウム「人文科学とデータベース」論文の様式

Article Style for the Open Symposium on Humanities and Database 14ポイント

人文 太郎 ← 10.5ポイント

Taro Jinbun

浪速大学 人間社会システム科学部, 大阪府堺市中区学園町 1-1
Naniwa University, 1-1, Gakuen-cho, Nakaku, Sakai, Osaka

概要: このファイルは論文執筆の様式を記述したものです。原稿はこのファイルをもとに作成し、図や表も全て含めたカメラレディの状態でお送り下さい。ページ番号など最低限の編集のみで印刷製本します。また、論文集を読み易くする為に、各論文のページ数は偶数ページ (6 ページまたは 8 ページを標準とします) に調節して下さい。

↑ 9ポイント

Abstract: The style for symposium articles is given. Camera ready copies, including all the figures and tables, should be submitted. Papers must be printed to A4 size with 3 cm margins all round. The number of pages must be even, preferably 6 or 8. The organizing committee will paginate the camera ready copies and publish the proceedings, which will be available at the symposium.

キーワード: 人文科学, データベース, シンポジウム, 原稿書式

Keywords: humanities, database, symposium, style for manuscript

1. 原稿用紙 ⇒10.5ポイント

論文原稿はカメラレディの状態に作成して下さい。

戴いた原稿をそのまま印刷製本致します。

事務局ではページ番号などを書き加えるだけです。

なお、写真・画像はモノクロで印刷します。

論文原稿の用紙とページ数は次の様に統一します。

- (1) 用紙は A4 版として下さい。
- (2) 図および表を含めて 8 ページを目安として下さい。論文集の製本を考えて、偶数ページにして下さい。
- (3) 刷り上がり 1 ページは 24 字 44 行 2 段組みを目安として下さい。ただし、論文題名とか著者名などは 1 段組とします。上に示したこの論文様式を参考にして下さい。
- (4) 各ページの左右上下のマージンは全て 30mmとして下さい。

なお、この様式は情報処理学会研究報告[1]を参考に作成しています。Word の機能や設定方法については、文献[2][3]を参照して下さい。

2. 論文の構成

論文原稿は次の順序で作成して下さい。

1. 論文題名(和文) 6.までセンタリングして下さい
2. 論文題名(英文)
3. 著者名(和文)
4. 著者名(英文)
5. 所属および住所(和文)
6. 所属および住所(英文)
7. あらまし(400 字程度)
8. 英文 Summary(200 - 300 words 程度)
9. 和文キーワード(4-5 語)
10. 英文キーワード(4-5 語)
11. 本文 :明朝、9ポイント
12. 謝辞
13. 参考文献
14. 付録

文献の書き方や文献の引用の仕方は、論文の著者が所属している学会などで一般的であると思われる方法で結構です[4][5][6]。

3. 論文送付について

締切と送付先

(1) 原稿締切は 2018 年 2 月 2 日(金曜日)です。

(2) 送付先:

Word 形式のカメラレディの原稿ファイル、およびこれを PDF 形式に変換したファイルを、下記のメールアドレスまでお送り下さい。

E-mail: ark@kis.osakafu-u.ac.jp

Tel: 072-254-9155 (ダイヤルイン)

ご質問等が御座いましたら、上記までお願いいたします。

4. シンポジウム発表について

(1) シンポジウムの日程は 2018 年 3 月 3 日(土曜日)です。

(2) 詳細なプログラムは別途お送りします。

(3) シンポジウムの一般講演は 1 件の発表時間が質疑応答も含めて 20~30 分程度の予定です。

(4) シンポジウムの最後には懇親会も予定していますので、多数の方々の御参加をお願い致します。

(5) 会場となる大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3 棟 116 中講義室を予定しています。会場へのアクセスについては 下記 URL をご覧下さい。

<http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/access/>

5. 論文の公開について

公開シンポジウム終了後、今年度末までに人文系データベース協議会 HP に論文を掲載します。

<http://www.jinbun-db.com/symposium>

論文掲載を希望されない執筆者は、論文提出時に申し出て下さい。申し出がなかった場合には、HP への掲載を承諾されたものと判断させていただきます。

参考文献

[1] “MS-Word による研究報告作成のガイド(第 3.2 版)”。

<https://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>.

[2] “Word のスタイルの基礎”。

[https://support.office.com/ja-JP/article/d38d6e47-](https://support.office.com/ja-JP/article/d38d6e47-f6fc-48eb-a607-1eb120dec563)

f6fc-48eb-a607-1eb120dec563, (参照 2016-02-20).

[3] “Office のサポート”。

<https://support.office.com/ja-jp/>, (参照 2016-02-20).

[4] 桜井貴文. 直観主義論理と型理論. 情報処理, 1999, vol. 30, no. 6, p. 626-634.

[5] Itoh, S. and Goto, N.. An Adaptive Noiseless Coding for Sources with Big Alphabet Size. IEICE Transactions. 1991, vol. E74-A, no. 9, p. 2495-2503.

[6] 中尾佐助. 秘境ブータン (岩波現代文庫). 岩波書店, 2011.